表　彰　農　家

【奨励農家】沖縄県糖業振興協会理事長賞

北部地区代表（宜野座村）

宮平（みやひら）　勇希（ゆうき）

春植（植付日：**R2** 年 **3** 月 **1** 日）
品種：**Ni29**　畝幅：**133cm**

創意工夫のポイント

・サブソイラによる深耕、心土破砕で排水性改善。
・バガス堆肥やフィルターケーキ、ビール粕等による地力向上。
・有機物を良くなじませてからガス抜き後植付け、発芽率向上。
・雑草防除の徹底と培土時期を遅らせて茎数増加。

【奨励農家】沖縄県糖業振興協会理事長賞

中部地区代表（読谷村）

山内（やまうち）　善隆（よしたか）

春植（植付日：**R2** 年 **1** 月 **10** 日）
品種：**Ni28**　畝幅：**130cm**

創意工夫のポイント

・新植時はバックホウで深耕し、排水性改善。
・バガス堆肥やフィルターケーキを大量に投入し地力向上。
・土壌処理型除草剤使用による雑草予防対策。
・分けつ茎をしっかり立ててから培土を実施。

【奨励農家】沖縄県糖業振興協会理事長賞

南部地区代表（那覇市）ほ場：糸満市

島袋（しまぶくろ）　幸光（ゆきみつ）

夏植（植付日：**R1** 年 **8** 月 **24** 日）
品種：**Ni27**　畝幅：**135cm**

創意工夫のポイント

・土壌改良資材等の活用による土づくり。

・サブソイラで深耕し排水性の改善。

・さとうきび大学で、学んだ技術を実践。徹底した肥培管理。

・かん水の徹底。スプリンクラーで届かないほ場周縁部は手がけかん水実施。

【奨励農家】沖縄県糖業振興協会理事長賞

八重山地区代表（石垣市）

西原（にしはら）　茂夫（しげお）

春植（植付日：**R2** 年 **3** 月 **5** 日）
品種：**RK97-14**　畝幅：**150cm**

創意工夫のポイント

・堆肥を十分に投入し地力向上。

・新植時バックホウで深耕し排水性改善。

・新植用の採苗圃を設置し、若苗の適期植付実施。

・かん水の徹底と計画的な改植更新（株は **2** 回まで）。

【多量生産の部】

《農家の部》

【県１位】(独)農畜産業振興機構理事長賞

北大東村　　名嘉（なか）　理（おさむ）

（生産量　**882,062kg**　平均甘蔗糖度　**13.8** 度）

【県２位】沖縄県農林水産部長賞

南城市　　大城（おおしろ）　康裕（やすひろ）

（生産量　**596,111kg**　平均甘蔗糖度　**14.5** 度）

《生産法人の部》

【県１位】(独)農畜産業振興機構理事長賞

久米島町
農業生産法人
有限会社　ドリームファーム
代表者　宇江城（うえしろ）　昌也（まさや）

（生産量　**866,000kg**　平均甘蔗糖度　**13.70** 度）

【特別優良事例の部】 沖縄県糖業振興協会理事長賞

うるま市	金城（きんじょう）　静光（せいこう）
宮古島市	平良（たいら）　安男（やすお）
石垣市	大嶺（おおみね）　ふじ子
与那国町	祖納元（そなもと）　精幸（せいこう）

【副　賞　提　供】

沖縄県
沖縄県農業協同組合中央会
日本分蜜糖工業会
沖縄県黒砂糖工業会
沖縄県市長会
沖縄県町村会
沖縄県農業共済組合
株式会社　くみき
第一農薬株式会社
琉球産経株式会社
琉球肥料株式会社
沖縄県糖業振興協会

令和２／３年期さとうきび競作会審査結果の講評

審査委員長　川之上　昭彦
沖縄県農林水産部営農支援課
農業革新支援専門員

１　取り組みの経緯

本競作会は生産技術および経営改善において創意工夫し、高単収・高品質な生産を上げたさとうきび農家を表彰することによって、県内各地のさとうきび作農家の生産意欲を喚起して沖縄県の糖業発展につなげていくことを目的としています。

今期の競作会は、令和２／３年期収穫のさとうきびを対象として、各製糖工場、さとうきび生産振興協議会、地区農業振興会、JAおきなわ、同中央会、分蜜糖工業会、黒砂糖工業会、県農業研究センター及び各支所、糖業農産課、営農支援課から成る「沖縄県さとうきび優良事例調査委員会（以下、調査委員会）」を令和２年９月３日に開催予定でしたが、コロナ禍のため書面決議により実施要領を定め、スタートしました。

地区では令和２年 12 月中旬から令和３年１月中旬にかけて審査を行い、地区代表を沖縄県糖業振興協会に推薦し、調査委員会は令和３年１月 22 日に、推薦のあった４点について実施要領に基づき出品資格を確認と、県審査の日程、新型コロナ感染症蔓延防止に係る県独自の緊急事態宣言下での全刈り審査の実施方針を決定しました。推薦のあった４点のうち３点は春植え、１点は夏植えでした。

令和３年２月４日に当初令和３年２月７日までの期間としていた沖縄県緊急事態宣言が２月 28 日まで延期されたことから、令和３年１月 22 日調査委員会で決定した実施方針に基づき、全刈り審査をやむなく断念し、地区から推薦のあった４点については全員奨励農家として表彰することを決定しました。

このような中ではありますが、地区審査ならびに県審査に積極的にご協力を頂いた生産農家を始め、各関係機関の皆様に感謝申し上げます。各地区から推薦のあった農家およびほ場については、単収向上に向けた創意工夫などを広く周知を図るために、各地区さとうきび協議会等関係機関の協力のもと、２月 19 日沖縄本島地区、２月 24 日八重山地区において聞き取り調査を行い、創意工夫のポイントとして取りまとめました。

多量生産の部では、今期の工場搬入量、品質から地区糖業に貢献度の高い生産農家および生産法人を各工場から推薦していただき、上位２農家、１生産法人について、３月９日から 16 日にかけ、経営とさとうきび栽培管理の聞き取り調査および現場確認を行いました。令和３年３月 19 日に農業研究センター、糖業農産課、営農支援課および糖業振興協会から成る専門委員会で調査規程に照らし、多量生産の部における順位を決定しました。

２　審査結果

《農家の部》

【奨励農家】　（公社）沖縄県糖業振興協会理事長賞

北部地区代表	宜野座村字松田 （ほ場：宜野座村字松田志利川原）	宮平　勇希	Ni29	春植
中部地区代表	読谷村字宇座 （ほ場：読谷村字座浜屋原）	山内　善隆	Ni28	春植
南部地区代表	那覇市与儀 （ほ場：糸満市字大里前原）	島袋　幸光	Ni27	夏植
八重山地区代表	石垣市字真栄里 （ほ場：石垣市平得地底）	西原　茂夫	RK97-14	春植

《多量生産の部》

【農家の部】

【沖縄県１位】　（独）農畜産業振興機構理事長賞

北大東村　名嘉　理

（生産量　882,062kg　甘蔗糖度　13.8 度　工場シェア　3.05％），

【沖縄県２位】　沖縄県農林水産部長賞

南城市　　大城　康裕

（生産量　596,111kg　甘蔗糖度　14.5 度　工場シェア　0.49％）

【生産法人の部】

【沖縄県１位】　（独）農畜産業振興機構理事長賞

久米島町　（有）ドリームファーム

（生産量　866,000kg　甘蔗糖度　13.7 度　工場シェア　1.86％）

《特別表彰の部》（公社）沖縄県糖業振興協会理事長賞

【農家】

うるま市　　金城　静光

宮古島市　　平良　安男

石垣市　　大嶺　ふじ子

与那国町　　祖納元　精光

【団体】

該当なし

３　審査の総括

（１）令和 2/3 年期の気象条件と生育状況（農業研究センター気象感応試験より）

ア　沖縄本島北部では 3～4 月の降雨は平年より少なかった。梅雨は 5 月 16 日から 6 月 12 日までと平年より 13 日短かったものの、５～10 月の降水量は平年より高く推移した。11 月は平年の約３割、12 月は平年の 2.7 倍であった。日照時間は３～４月平年を上回ったが、５～９月平年を下回り、10～11 月は平年を上回ったが 12 月は平年の 39%で過去最少となった。気象災害は、８月 31 日に台風９号、９月５日に台風 10 号の接近はあったものの被害は軽微であった。春植え、株出しともに原料茎重は平年値を下回ったものの、Brix は平年値を上回った。

イ　沖縄本島南部では降水量は３、５～８、10、12 月に平年値を上回った。日照時間４～５、７～９、12 月は平年値より短く推移した。気象災害は８月 24 日に台風８号、９月上旬に台風９号と 10 号が接近したが被害は軽微であった。春植え、夏植え、株出しともに原料茎重は平年値を大きく上回り、Brix は平年並みであった。

ウ　宮古では降水量は５月以降 11 月を除き平年より高く推移し、特に 12 月は平年の３倍降雨があった。日照時間は、６月を除き平年より低く推移した。気象災害は台風９号の接近があったが、被害は軽微であった。春植え、夏植え、株出しいずれの作型でも原料茎重は平年値を上回り、Brix は平年並みであった。

エ　八重山では降水量は５～９月、12 月は平年値を大きく上回る降雨があったが９～11 月は少雨傾向であった。日照時間は６月は大きく平年値を上回ったが 12 月は大きく下回った。気象災害は８月上旬に台風４号の接近があったが、被害は軽微であった。春植え、夏植え、株出しいずれの作型でも原料茎重は平年値を上回り、Brix は平年並みであった。

（２）農家の部の選抜状況

今期、出品された４点は春植え３点、夏植え１点で、品種は Ni27、Ni28、Ni29、RK97-14 でした。

創意工夫のポイントとしては、深耕により排水性の改善、堆肥や土壌改良資材を活用した土づくりに取り組むとともに、雑草対策の徹底や培土時期を遅らせることによる分けつ茎数の増加、かん水の徹底により茎伸長の増加に取り組んでいました。また、採苗ほを設置し優良な種苗を確保したり、有機物投入後の混和期間の確保と十分なガス抜き等により発芽率の向上に取り組んでいる事例もありました。

いずれの農家も勉強熱心で、新たな品種や栽培技術を取り入れ、意欲的にさとうきび栽培に取り組んでいます。

（３）多量生産の部における経営および栽培の状況

ア（生産農家の部）

生産農家の部１位の北大東村 名嘉理さんは、経営面積約 12.5ha で、約 882t 生産し、製糖工場が生産する甘蔗糖の 3.05％を占めています。ほ場の特性をよく理解し、ほ場特性に合った品種選定を行うなど研究熱心です。全ほ場点滴チューブを設置し、徹底した肥培管理を行っています。

生産農家の部２位の南城市 大城康裕さんは、約 12ha の栽培面積から約 596t を生産し、工場シェアの 0.49％を生産しています。労働力は本人と息子の二人ですが、本人はさとうきび運搬人、息子はハーベスターオペレーターとして活躍しています。本島南部の狭小なほ場約 12ha は筆数で 95 筆を超え作業遅れが生じないようほ場の状況をよく把握し、段取りのよい作業に努めています。

ウ（生産法人の部）

生産法人の部 1 位となった久米島町農業生産法人(有)ドリームファームは、さとうきびは栽培面積約 20ha(うち収穫面積約 15.6ha)で 866t 生産する農業生産法人である。工場シェアは 1.86％です。自社生産が大きいことから農作業の受託はあまり行っていない。機械化一貫体系に要する機器は植付から管理作業、収穫ハーベスターまで全て揃っています。ハイクリアランスブームスプレイヤとマルチソワーにより除草剤や殺虫剤散布の防除作業や、肥料や有機質資材散布の省力化により、80 筆以上あるほ場を効率的に管理しています。

以上の経営調査から、経営面積は大きくとも収穫後の除草管理や施肥管理を適期に行う事は個人、法人とも共通しており、それぞれ工夫している様子が確認できました。

（４）特別優良事例

長年に亘り沖縄県糖業の発展に貢献された個人農家として各地区から推薦のあった、中部地区 金城靜光さん、宮古地区 平良安男さん　八重山地区 大嶺ふじ子さん、与那国地区 祖納元精光さんは、調査委員会でその功績が認められ、特別優良事例者として選出されました。

今回の沖縄県さとうきび競作会はコロナ禍で全刈り審査が行えないと言う状況下ではありましたが、受賞された農家個人、団体の皆様をはじめ、表彰された生産農家の優れた生産技術を共有する機会となり、本県さとうきび生産農家の栽培技術の向上と収益の向上に繋がりますよう、また、経営調査を通して明らかになった地域の課題についても、関係機関による解決に向けた取組の強化が図られることを祈念して、調査委員会を代表として講評といたします。有難うございました。